

With コロナの時代のアート - 世界を切り取るアーティストの視点が、客室の壁に！

堤あすかさん アーティストルーム「茶室（仮）」、制作中

パークホテル東京（運営：株式会社芝パークホテル 東京都港区、代表取締役社長 柳瀬連太郎）は、2012年から2017年にかけて客室の壁に直接絵を描いた「アーティストルーム」を31室作りましたが、「より多くのゲストに日本の美意識・文化を体感してほしい」という想いを込めてアーティストルームを拡充することとし、12月10日から堤あすかさんによる「アーティストルーム 茶室（仮）」が制作中です。

本件は2020年4月から制作開始予定だったものがコロナ禍のため延期され、12月の開始となったものです。「2020年初頭に打ち合わせした際と今では、（客室に）描きたい絵が異なる」と言う堤さん。With コロナの時代に切り取る世界を、2か月かけ、当ホテルの客室の壁を使って存分に表現していただきます。

制作中の取材も承っておりますので、貴メディアでのご紹介をご検討いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

制作中のアーティストルーム：概要

作家：堤あすか ※現在開催中の「エレメントのカタチ」展・出展作家

テーマ：「茶室」～庭と掛け軸の世界の中へ～

制作開始日：2020年12月10日 ※制作期間は2か月を予定

制作場所：パークホテル東京 34階3402号室（シングル）

※31階の31室を含めると32室目、34階では1室目

作家略歴：

2007年 C-DEPOT に加入。以来横浜赤レンガ倉庫、青山スパイラル、百貨店、での展示に出品

2016年 C-DEPOT Japan Fashion -花-（パークホテル東京）

2017年 HIROSAKI DESIGN WEEK ランタンワークショップ講師担当

2019年 ART colours Vol. 28 堤あすか展 ～祝福の春祭り～（パークホテル東京）



パークホテル東京について

パークホテル東京は、芝パークホテル（東京・港区・1948年創業）の姉妹ホテルとして、2003年汐留メディアタワーの25階から34階に誕生いたしました。25階にはフロント、レストラン、バーがあり、フロントからは東京タワーを臨む景色をお楽しみいただけます。客室数は270室、26階から34階が客室です。2013年に「日本の美意識が体感できる時空間」をコンセプトに、アートを基軸としてリブランドし、そのプロジェクトの一環として客室の壁をキャンバスとした「アーティストルーム」を31室つくりました。このプロジェクトは、2017年第3回ジャパン・ツーリズム・アワード『領域優秀賞』を受賞いたしました。



本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

芝パークホテル / パークホテル東京 マーケティング&ストラテジー担当：早乙女

sotome@shibaparkhotel.com / 070-6448-2236

TEL：03-3433-4141（代） FAX：03-5470-7515